

society&business Tokyo25 journal 25 journal

執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

都議選 都ファア勝利は新たな選択肢への期待

② 総選挙 都ファア投票者らの動きに注目

2021 選挙検証

7月の都議選は事前に苦戦が伝えられた都民ファーストの会が議席は減らしたものの大勝利だった。一方、自民は第1党に返り咲き、公明は全員当選を果たした。だが、自公は内容的には惨敗だった。圧倒的な組織力を持ち、低投票率という好条件の中で圧勝できなかった。野党共闘で候補を調整した立憲民主、共産は議席を増やしたものの効果は限定的だった。

(東京25ジャーナル・岡村信良)

都議選は国政を占うと言われてきた。都議選から浮かびあがる有権者の思いは「自公政権への失望」、「野党連合政権への不安」、「新たな保守勢力が結集すれば望みを託す」というところか。国政に都

ファア的な勢力があれば、権が変わる。ただ、今は、今秋の総選挙は政

都ファアの善戦は東京25区管内の西多摩(定数2)、青梅市(同1)、昭島市(同1)の3選挙区でも顕著だった。青梅市、昭島市で自民候補を破り、西多摩でも前回に次いで1人に絞った自民候補の得票を上回りトップ当選を

の森村隆行都議は自民新人の山崎勝氏と一騎打ちとなったが、圧勝した。都知事を招いた都政報告会、自治会や各種団体とつながる日常活動を小まめにこなしてきたことに加え、政治団体の青梅の未来をつくる会(宮崎精一代表)からの支持は大きな力となった。同会の会員らが中心となり組織的な選対を立ち上げ、街宣活動にも力が入った。さらに野党共闘候補の擁立が見送られ、飛騨紀子青梅市議

などの支援も追風になった。今回の都議選を見る限り、都ファア候補を当選に導いた勢力は自公に相対する塊になる可能性を秘めている。塊ができれば、大臣を経験して7度目の選挙に臨む自民の井上信治衆院議員にとって初陣以来、最も厳しい選挙になる。

こうした中、都議選で都ファア候補を支援した大勢待利明、片谷洋夫の両青梅市議と馳平耕三羽村市議が「西多摩の立ち上げを目指す」となった。青梅市、西多摩、昭島市で都ファアが自民党に代わる新たな保守の選択肢を示して全員当選しようとした。「総選挙で無所属系議員の連携を深め、新たな選択肢を示したい。東京25区を良くする流れをつくる行動を取る」という。

井上陣営にとって、自身の秘書を務めた候補の都議選惨敗、日の出町長選では自民推薦候補の敗戦、羽村市長選と瑞穂町長選の保守

酒蔵は地域と自らの誇り

400年続く家系。酒造りをはじめた江戸期・文久3年(1863)から数えても150年余の歴史を持つ。石川酒造はもはや旧家というよりも福生の名家。その分、地域に対しての責任も求められると、18代目当主の石川彌八郎(太郎)氏はいう。

「先代も家業と政治の両面で地域に関わってきた。私が小学生のころには清酒『多満自慢』の営業

石川酒造 石川彌八郎氏



「迷いを払拭してくれたのは、父の代に編纂された『石川酒造文書』に残された慶一郎の日記。平成も数年過ぎると出荷量が落ち

に乗り出す。確かに最初は儲かったが、バブルの崩壊とともに荷物物になっていく」

大学を出た太郎氏が酒蔵に戻ったのが90年。バブルが弾ける1年前のことである。その2年前、父親は福生市長になっていた。1期目、公の仕事をながしるにはできな

「バブル景気の時代、父も活力のある老舗経営を展開した。酒蔵を大規模改修し、多角化経営をめざして鉄板懐石やフランス料理のレストラン、スイミングスクール運営

【岡村繁雄】

どこにいても直らなかった方へ(3密対策を徹底)

秋川駅北口 41年の実績

太田ハリ灸治療院

042(550)5591 完全予約診療(当日予約も可) 土日も診療

初診料 3,000円
治療費 3,500円 (学生2,500円)

この広告で来院した方は 初診料無料

坐骨神経痛、ヘルニア(腰、頸椎)、脊椎管狭さく、五十肩、ひざ関節症、肩こり、エルボ(テニス・ゴルフ)、湿疹、スポーツ障害など

坐骨神経痛はお尻から足にかけて痛み、シビレで歩くことが困難な方

あきる野とうきゅう
五日市街道
●西武信金
秋川駅
あきる野市秋川1-1-13共和ビル3階
秋川駅徒歩1分

「私が元気に大会に出場できるのは痛めた腰・肩の治療を受け、体のケアをしているからです」